

Sustainability Report 2022



CONTENTS

企業紹介 … P2

社長メッセージ … P3

サステナビリティ方針 … P4

ESG … P5～7

ESGデータ集 … P8～10

編集方針

- | | |
|----------|--|
| ・ 報告対象範囲 | 高松機械工業株式会社単体 |
| ・ 報告対象期間 | 2021年度(2021年4月～2022年3月)の活動について報告
※対象期間前後の活動も一部含む |
| ・ 発行時期 | 2022年11月 |
| ・ 掲載場所 | 当社ホームページにて公開
URL : https://www.takamaz.co.jp/sustainability/ |
| ・ 発行部門 | 高松機械工業株式会社
管理本部 企画経理部 経営企画課
E-mail : k-kikaku@takamaz.co.jp
TEL : 076-274-1410 FAX : 076-274-1418 |

経営理念

TAKAMAZ は「社会に貢献」する。

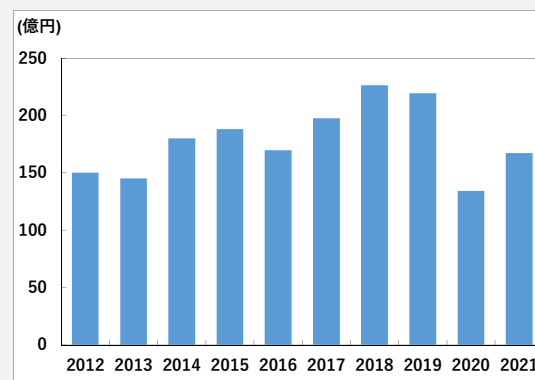
お客様には、安全でメリットのある商品を
 従業員には、生活の安定と希望を
 株主には、適切な配当を
 提供すると共に、協力企業とも共存共栄の精神をもって、
 社会の発展に積極的に貢献する。

企業概要

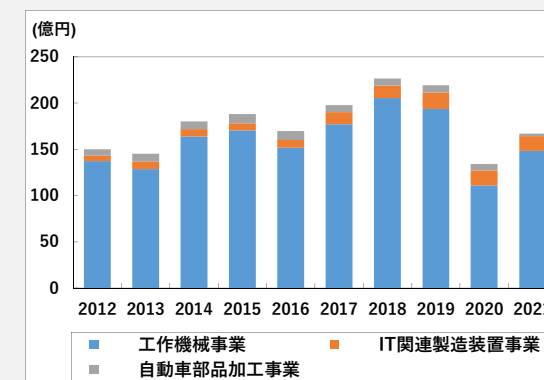
会社名	高松機械工業株式会社
設立年月日	1961年7月1日
本社所在地	石川県白山市旭丘1-8
上場取引所	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード 6155)
連結売上高	167億20百万円 (2021年度)
正社員数	連結：611名 単体：533名 (平均年齢 37.6歳) (2021年度)
生産拠点	・本社工場 ・あさひ工場 ・第2工場 ・第3工場 ・第4工場 ・開発センター
国内拠点	・関東支店 ・名古屋支店 ・大阪支店 ・東北営業所 ・北信越営業所 ・厚木営業所 ・浜松営業所 ・広島営業所
海外拠点	・TMU(アメリカ)・TME(ドイツ)・TMT(タイ) ・TPMP(タイ)・喜志高松(中国)・友嘉高松(中国) ・PTTI(インドネシア)・TMVN(ベトナム) ・TMMX(メキシコ)

業績 (連結)

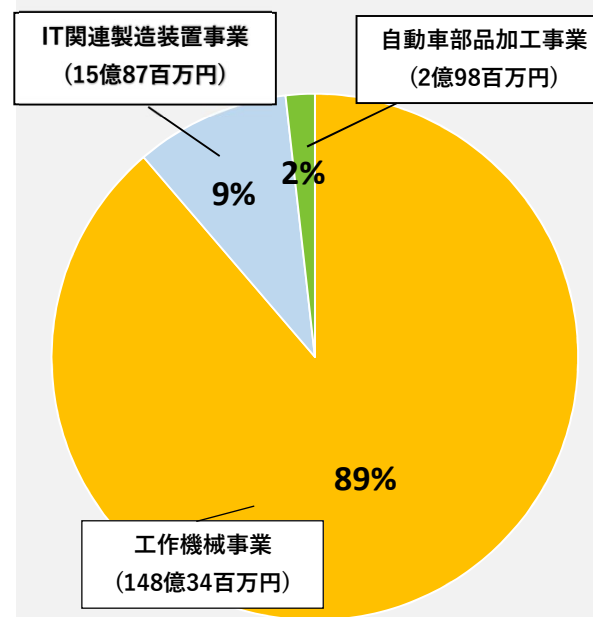
■連結売上高



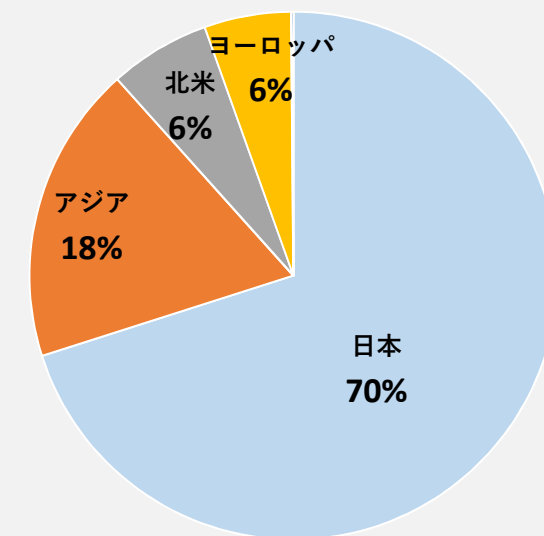
■セグメント別連結売上高



■セグメント別構成比 (2021年度)



■地域別構成比 (2021年度)



ステークホルダーの皆さまへ

TAKAMAZは、常に挑戦し、
これからも持続可能な社会の実現に
貢献してまいります。

代表取締役社長 高松 宗一郎



はじめに

ステークホルダーの皆様には、当社に対するご理解、ご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

昨今、SDGs、ESG、カーボンニュートラルなど、サステナビリティを巡る様々な社会課題に対して、企業は課題解決への貢献が求められています。

当社は、これら課題への取り組みが、当社の経営理念である「社会に貢献する」と同じゴールに向かっていくと確信しています。そこでサステナビリティ基本方針として、「TAKAMAZは、常に挑戦し続けるモノづくりを通じて、企業価値の向上と持続可能な社会の実現に貢献します。」を制定しました。また、今年度よりスタートした中期計画2024では、「サステナビリティの実現」を主要戦略の一つに決めました。

当社の事業とサステナビリティ

当社の事業は、主に3つの分野に展開しています。主力の工作機械事業は、あらゆる機械を作る「機械」であることから「マザーマシン」と呼ばれる工作機械を生産しており、モノづくりの裏方としてすべての産業を支えています。また、自動車部品加工事業は、当社ブランドの工作機械製品で構築した自動化ラインをもとに、主に自動車のエンジン関連部品を製造しており、IT関連製造装置事業は、世界的に需要が高まっている半導体関連向けから多くの受注を得ています。

このように、当社は社会に必要な不可欠なものを提供しており、当社の「モノづくり」は、持続可能な社会の実現に貢献しているものと自負しています。「モノづくり」を通じた事業活動により、今後も魅力的な製品を生み出し続け、企業価

値を維持、向上させるとともに、当社だけでなく、社会全体でサステナブルな世界を実現できるよう、取り組みを一步ずつ進めていきます。

サステナビリティへのコミットメント

サステナビリティを巡る課題の中でも、特に環境面の気候変動問題が深刻化しています。これを解決するカーボンニュートラルが世界的に注目されており、当社としても、できることを一つずつ実行していきます。

製品面では、お客様のカーボンニュートラルに貢献できる機械を提供していくほか、生産面では、2022年4月に操業を開始した最新鋭のあさひ工場を中心に、環境負荷の低減にこれまで以上に取り組んでいきます。

また、サステナビリティの取り組みは

継続的なPDCAが重要と認識しています。今後も、取り組み内容について、社内でも定期的にモニタリングや議論を行い、実効性を担保させていきます。

サステナビリティレポートの発行

株主様、お客様、取引先様、当社社員、地域社会など、様々なステークホルダーの皆様にご理解いただくため、今年度からサステナビリティレポートを発行しました。ESGの3つの切り口で内容を取りあげ、当社の取り組みとその成果や、数値データを毎年度ご紹介し、より適切な情報開示に努めていきます。

今後も当社は、企業の成長と社会への貢献に取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

TAKAMAZのサステナビリティ

サステナビリティ基本方針

「TAKAMAZは、常に挑戦し続けるモノづくりを通じて、企業価値の向上と持続可能な社会の実現に貢献します。」

高松機械は、「社会に貢献する」を経営理念に、創業以来モノづくりに取り組んできました。

















近年、SDGs・カーボンニュートラルなど、サステナビリティを巡る様々な社会課題が山積しており、企業活動を通じて、これら課題解決への貢献が求められています。

これら課題への取り組みが、当社経営理念「社会に貢献する」と同じゴールに向かっていくと確信しています。

私たちは、企業価値の源泉であるモノづくりを通じて、これからも持続可能な社会の実現に貢献していきます。

サステナビリティ体系図

以下は、私たちのサステナビリティの取り組みの中核となる「体系図」です。「体系図」に基づき、取り組みを推進していきます。

	分類	マテリアリティ（重要課題）	取り組み方針	SDGsの達成
ESG	① 環境 (E)	モノづくりを通じて 地球環境の 負荷を軽減します	①地球にやさしい製品を提供します。	   
			②企業活動での省エネルギー化を推進します。	
			③政府方針に準じてカーボンニュートラルを推進します。	
	② 社会 (S)	モノづくりを通じて 社会に貢献します	①安全・安心・高品質な製品を安定的に提供します。	      
			②アフターコロナを見据えた企業活動を推進します。	
			③協力企業と連携します。	
			④地域社会に貢献します。	
	③ ガバナンス (G)	社員と会社の 持続的な成長を 目指します	①働きやすい、働きがいのある職場環境を整備することで、従業員エンゲージメントを高めます。	  
			②健康経営を推進します。	
③挑戦し、成長し続ける社風を醸成します。				
	経営基盤を さらに強化します	①全社最適な会社運営を行います。	 	
②事業ポートフォリオへの分析に基づく経営資源の投入を行い、持続的な会社発展に努めます。				

サステナビリティ推進におけるマテリアリティ

事業活動に関わるさまざまな課題のなかから、「ステークホルダーにとっての重要度」と「自社が社会・環境・経済に与える重要度及び自社の経営にとっての重要度」の2つの視点のもと取り組みの検証を行い、以下の4つのマテリアリティ（重要課題）を定めました。

マテリアリティ（重要課題）とその選定理由
<p>・ Environment（環境）</p> <p>「モノづくりを通じて地球環境の負荷を軽減します」</p> <p>私たちは、地球環境の保全と利用のバランスを維持し、持続可能な世界を目指すことを、重要な社会課題と認識しています。工作機械をはじめとした優れたモノづくりにより、地球環境負荷の軽減に取り組んでいきます。</p>
<p>・ Social（社会）</p> <p>「モノづくりを通じて社会に貢献します」</p> <p>私たちは、本社・国内各拠点・海外グループ各社それぞれの地域社会と共に事業活動を行っています。地域社会と共生し、成長発展する好循環を生み出していきます。</p>
<p>・ Governance（ガバナンス）</p> <p>「社員と会社の持続的な成長を目指します」</p> <p>私たちは、社員すなわち「人材」こそが、企業の成長や発展の源泉であると認識しています。社員一人一人が、働きやすさや働きがいを感じ、健康に仕事ができる環境を整備し、会社と共に成長する好循環を生み出していきます。</p> <p>「経営基盤をさらに強化します」</p> <p>私たちは、企業活動の土台である経営基盤の強化を重要な課題と認識しています。上場企業として、コーポレート・ガバナンスに基づいた経営を行っています。</p>

E (環境)

環境面では、省エネ・省スペースな新製品開発に注力し、環境負荷の低い製品をお客様に提供するとともに、認証取得しているISO14001に基づき、環境方針と環境目標の達成をはかってきました。

マテリアリティ（重要課題）とその選定理由

「モノづくりを通じて地球環境の負荷を軽減します」

私たちは、地球環境の保全と利用のバランスを維持し、持続可能な世界を目指すことを、重要な社会課題と認識しています。工作機械をはじめとした優れたモノづくりにより、地球環境負荷の軽減に取り組んでいきます。

取り組み方針と達成目標

取り組み方針	SDGsの達成
①地球に優しい製品を提供します。	
②企業活動での省エネルギー化を推進します。	   
③政府方針に準じてカーボンニュートラルを推進します。	

取り組み事例

環境に配慮した製品開発の歴史

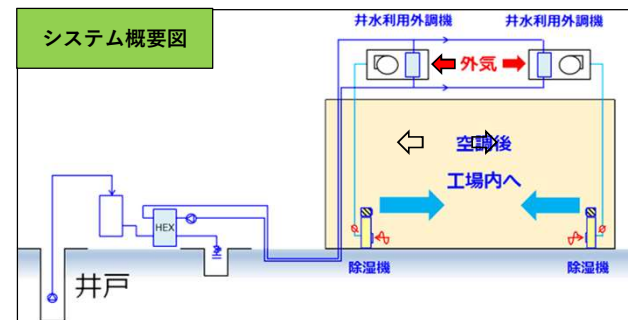
昨今、製品面での環境貢献のニーズが高まっていますが、当社は、1990年代から、小型化による省エネ化、省スペース化、潤滑油・油圧レスなど、環境に配慮した製品開発に取り組んでいます。また、2008年には旋盤としては初となる優秀省エネルギー機器表彰も受賞しました。多年にわたる地道な取り組みにより、環境配慮技術を取り入れた製品群は、お客様から高い評価を得ています。

今後も、あらゆる産業を支える工作機械の提供を通じて、環境負荷の低減に貢献していきます。



自然エネルギーを利用した「プレクール/プレヒートシステム」の導入

「環境に優しい工場」をコンセプトとして、2022年4月に操業を開始したあさひ工場では、井水を利用した先進的省エネ空調システム「プレクール/プレヒートシステム」を導入しています。通年で温度が安定している井水を活用した空調設備システムは、冷暖房にかかる電気の使用量の削減に繋がります。



ISO 14001に基づく環境マネジメントシステム

当社は、国際規格であるISO14001に基づいた環境マネジメントシステムを構築し、運用を行っています。（2000年12月に(財)日本品質保証機構(JQA)より認証取得）

当社の環境マネジメントシステムは、石川県の本社工場や第2、3工場のほか、全国の各営業拠点に適用しています。

本マネジメントシステムに基づき、電力・紙消費の削減や廃棄物の分別・再利用・抑制を徹底し、温室効果ガスの削減や循環型社会の構築に努めています。

S (社会)

社会面では、高い技術を誇る製品を安定供給するとともに、地域社会の一員として社会の期待に応えてきました。

マテリアリティ (重要課題) とその選定理由

「モノづくりを通じて社会に貢献します」

私たちは、本社・国内各拠点・海外グループ各社それぞれの地域社会とともに事業活動を行っています。地域社会と共生、成長発展する好循環を生み出していきます。

取り組み方針と達成目標

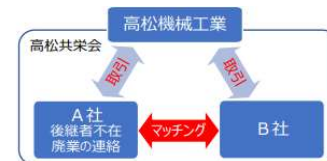
取り組み方針	SDGsの達成
①安心・安全・高品質な製品を安定的に提供します。	
②アフターコロナを見据えた企業活動を推進します。	
③協力企業と連携します。	
④地域社会に貢献します。	

取り組み事例

「パートナーシップ構築宣言」に基づくサプライヤーとの共存共栄

当社は、政府が推進する「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」の趣旨に賛同し、2020年7月に「パートナーシップ構築宣言」を公表しています。

サプライヤーで構成される「高松共栄会」内で、後継者不足にある協力企業のマッチングを支援をするなど、サプライヤーや価値創造をはかる事業者との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップの構築に取り組んでいます。



社員の献血協力と「厚生労働大臣表彰」

当社では、年2回、本社工場にお呼びした献血車において社員が献血を行っています。2022年7月には、献血運動の推進に積極的に協力し、他の模範となる実績を示した会社等に贈られる「厚生労働大臣表彰」を受賞しました。

献血は社員参加型のサステナビリティの取り組みです。これからも、身近な社会貢献として献血に積極的に協力していきます。



地元プロスポーツ団体への支援

当社は、石川県をホームタウンとして活動するプロサッカークラブのツエーゲン金沢及びプロ野球クラブの石川ミリオンスターズのスポンサーとなっています。

今後も、地元根ざした企業として、スポーツの支援を通じて地域社会活性化に努めていきます。



G (ガバナンス)

ガバナンス面では、すべてのステークホルダーから信頼され、魅力ある企業となるべく、最適な体制の構築と強化をはかってきました。

マテリアリティ (重要課題) とその選定理由

「社員と会社の持続的な成長を目指します」

私たちは、社員すなわち「人材」こそが、企業の成長や発展の源泉であると認識しています。社員一人一人が、働きやすさや働きがいを感じ、健康に仕事ができる環境を整備し、会社とともに成長する好循環を生み出していきます。

「経営基盤をさらに強化します」

私たちは、企業活動の土台である経営基盤の強化を重要な課題と認識しています。上場企業として、コーポレート・ガバナンスに基づいた経営を行っていきます。

取り組み方針と達成目標

取り組み方針	SDGsの達成
「社員と会社の持続的な成長を目指します」	
①働きやすい、働きがいのある職場環境を整備することで、従業員エンゲージメントを高めます。	  
②健康経営を推進します。	 
③挑戦し、成長し続ける社風を醸成します。	
「経営基盤をさらに強化します」	
①全社最適な会社運営を行います。	  
②事業ポートフォリオへの分析に基づく経営資源の投入を行い、持続的な会社発展に努めます。	 

取り組み事例

社員が働きやすい職場環境の整備

2022年4月に操業を開始したあさひ工場は、環境だけでなく「人（社員）」にも優しい工場」を目指し、整備しました。



ミーティングスペース

部門を超えたイノベーションを実現



製造エリア

多様なユーザーニーズにも柔軟に対応



コミュニケーションモニター

本社とあさひ工場間をリアルタイムで接続



カフェテリア

「おいしい」「健康」「楽しい」ランチでワクワクとリラックスを体感

「いしかわ健康経営宣言企業」の認定

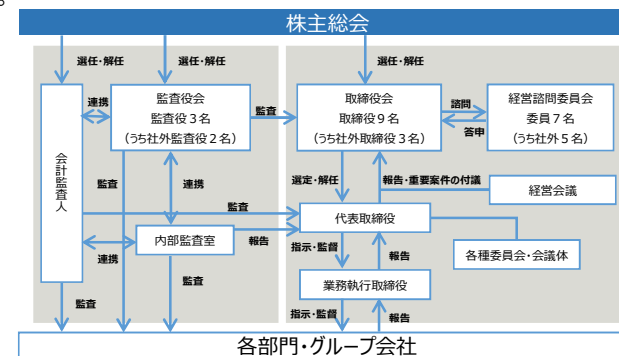
当社は、2022年8月に石川県より「いしかわ健康経営宣言企業」に認定されました。本制度は、企業が従業員の健康づくりに対する具体的な目標を宣言し、石川県がその企業を認定、支援する制度です。

当社にとって、「社員」はかけがえのない財産であり、社員の「健康」は何よりも大切であると認識しています。健康経営の推進により、社員の健康増進と企業価値の向上をはかっていきます。

ガバナンス体制

当社は、持続的な成長及び中長期的な企業価値の向上をはかるとともに、すべてのステークホルダーから信頼され、魅力ある企業となるべく、コーポレートガバナンスの充実に取り組んでいます。

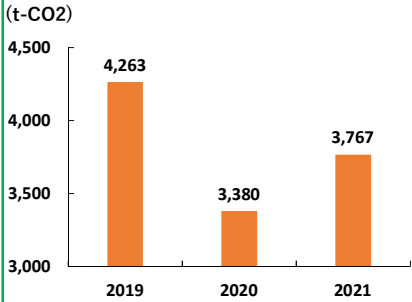
取締役会では、毎年自己評価を行い実効性の向上に努めているほか、社外役員が過半数を占める経営諮問委員会を設置し、指名及び報酬に関する手続きの客観性及び透明性の確保をはかっているなど、最適なガバナンス体制を構築しています。



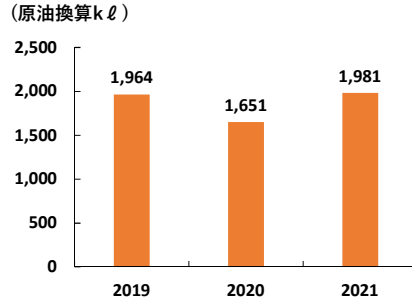
ESGデータ(1)

●環境に関するデータ

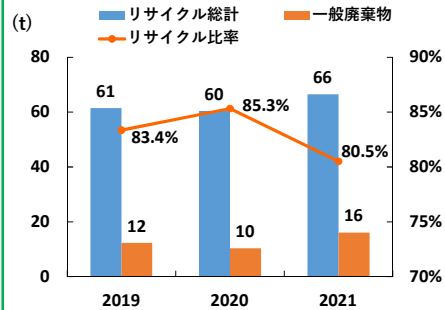
■Scope1+2 温室効果ガス排出量



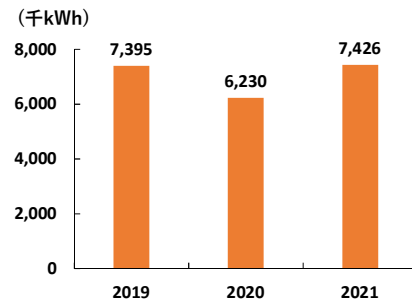
■原油換算エネルギー使用量



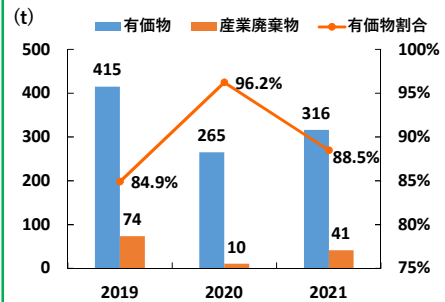
■リサイクル量と一般廃棄物量



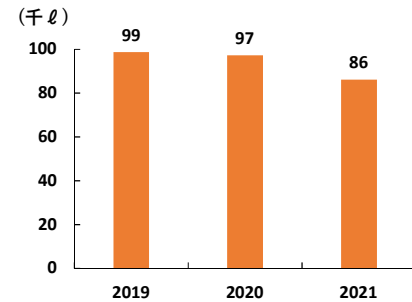
■電力使用量



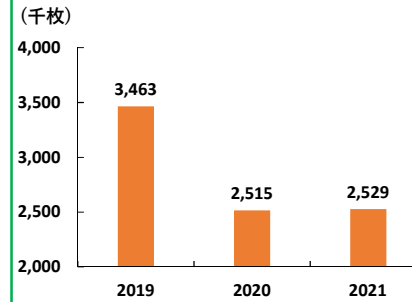
■有価物量と産業廃棄物量



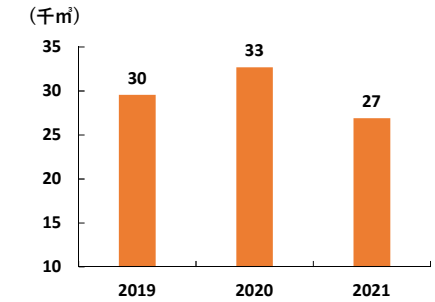
■廃油



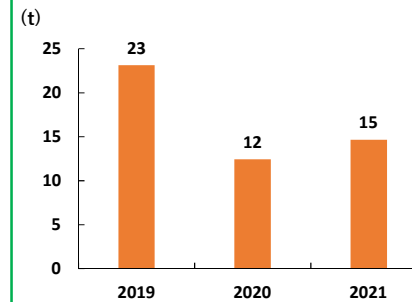
■コピー用紙使用量



■水道使用量



■廃プラ類



■環境・品質マネジメントシステム認証

当社は、以下の事業所において、環境・品質マネジメントシステムの認証を取得しています。

環境マネジメントシステムISO14001

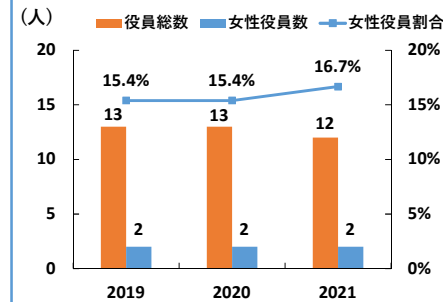
登録事業所：
本社工場、第2工場、第3工場、開発センター

品質マネジメントシステムISO9001

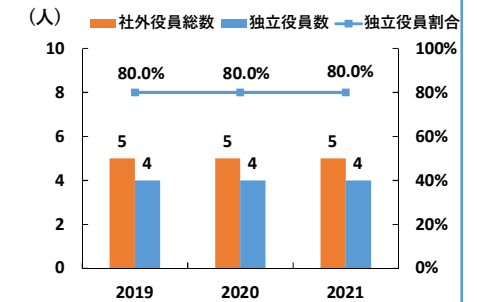
登録事業所：
本社工場、第2工場、第3工場、関東支店、大阪支店、名古屋支店、開発センター

●ガバナンスに関するデータ

■役員総数と女性役員



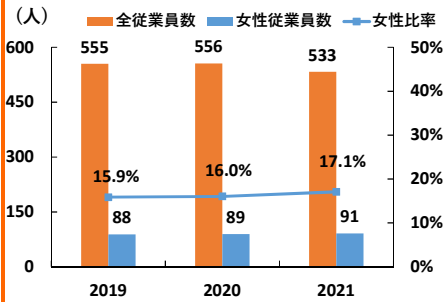
■社外役員総数と独立役員



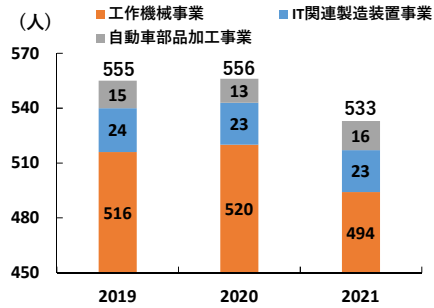
ESGデータ(2)

●従業員に関するデータ

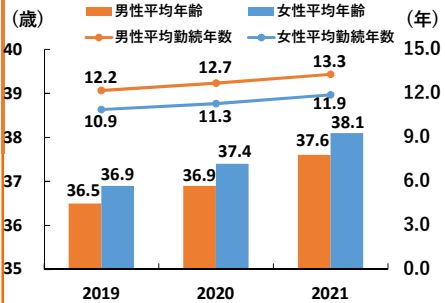
■従業員数



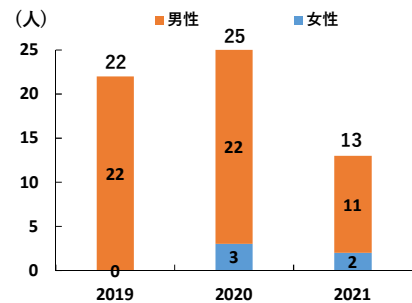
■事業別従業員数



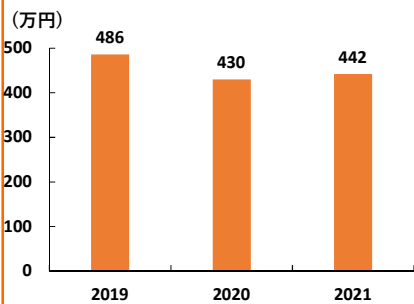
■平均年齢と平均勤続年数



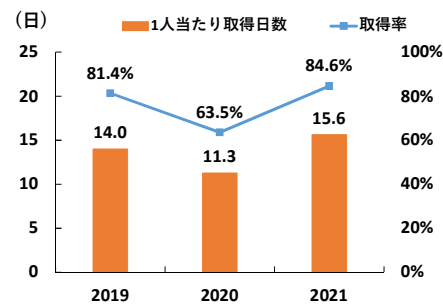
■新規採用者数



■平均年間給与



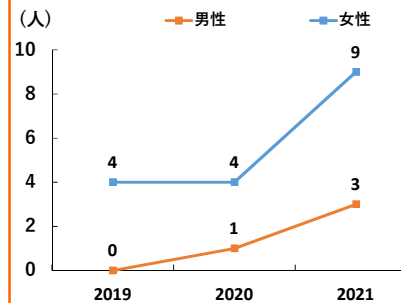
■有給休暇取得日数と取得率



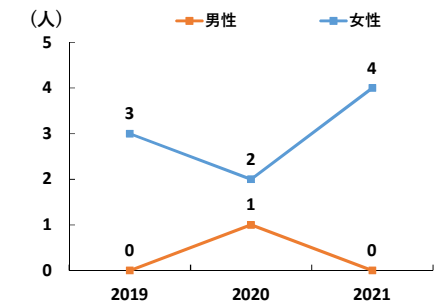
■仕事と家庭の両立支援制度

制度名	制度概要
育児休業	子供が1歳になるまで（条件を満たす場合は2歳まで延長可）
介護休業	対象家族1人につき通算93日まで（3回を上限として分割取得可能）
育児時間短縮勤務	子供が3歳になるまで
介護時間短縮勤務	介護短時間勤務利用開始から3年の間で2回以上

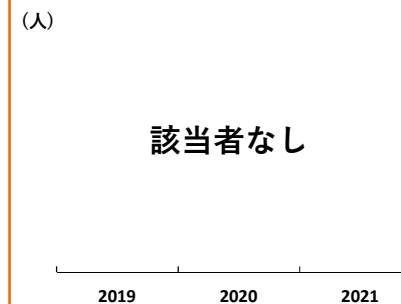
■育児休業者数



■育児時間短縮勤務者数



■介護休業者数



■介護時間短縮勤務者数



ESGデータ(3)

●教育に関するデータ

■スキルアップ・キャリアアップの支援

TAKAMAZは社員のスキルアップ・キャリアアップへの支援に力を入れており、階層別・専門教育を計画し、実施しているほか、随時OJTを行っています。

また、国家技能検定等、奨励資格を設定し、社員の自己啓発も促しています。会社指定の資格を取得した場合にはその重要度や難易度に応じて奨励金を支給し、自己啓発のための通信教育には受講料を補助しているほか、国内の大学院や研究所の社会人過程で学ぶ社員を対象に、学費の補助も行っています。

■奨励資格の合格件数

科目	2019年度 (件数)	2020年度 (件数)	2021年度 (件数)
国家技能検定 (特級)	1	1	3
国家技能検定 (1級)	7	8	4
国家技能検定 (2級)	16	13	24
QC検定 (2級)	2	-	2
ビジネスキャリア検定 (2級)	5	8	4
知的財産管理技能士 (2級)	-	1	2
実用英語技能検定 (準1級)	-	-	1
第1種衛生管理者	-	-	3
その他	-	-	-

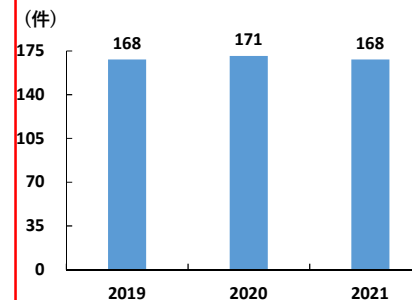
■主な奨励資格の延べ保有数

	科目	2021年度末 (保有数)
国家技能検定 (計367人)	国家技能検定 (特級)	6
	国家技能検定 (1級)	122
	国家技能検定 (2級)	239
その他資格 (計93人)	QC検定 (2級)	5
	ビジネスキャリア検定 (2級)	57
	知的財産検定※1 (2級)	4
	実用英語技能検定 (準1級)	3
	第1種衛生管理者	10
	その他※2	14

※1 旧知的財産管理技能士を含んでいます。

※2 その他には、技術士、社労士などを含んでいます。

■教育実施件数



■通信教育の利用者数

